

# 第53回 東京山桜会 総会報告

佐伯 文子 (大中高19期)

平成22年5月22日(土)、東京會館東商スカイルームにおいて第53回東京山桜会総会が開催されました。理事長、学院長をはじめ、大阪から各校の先生方、山桜会役員の方々にご出席頂き、総勢53名の参加で盛大に和気藹々と賑わいました。久しぶりに会った元気な顔に、皆な笑顔で話題に花を咲かせました。

大木理事長、竜田学院長、川原会長より、追手門学院の近況と将来の方針と改革のお話をありました。『オール追手門』という言葉がしきりに出ました。追手門学院のこれからは、幼稚園・小学校・中学校・高校・大学・大学院と一貫して教育していく『オール追手門生』を増やして、先輩後輩の関係も密にし、情報や生き抜く術を獲得し、社会に貢献し、社交的に円満な就職も困らない追手門生を育てていこうと改革計画を一生懸命述べられました。その為にも、小学校120年の人脈が重要であり、偕行社や追手門卒業生全体で就職活動にご協力いただきたいとのことでした。これからの世の中に勝ち残る手段として『オール追手門』の話に、皆様聞き入ってらっしゃいました。就職も困らなければ、ますます人気が出るし、親も子も安心して将来に希望をもてる学校になるなあと思いました。「大阪には伝統があります。“1回やってみなはれ!”ということばの伝統があります。皆様、どうぞご協力お願いします。」とのことでした。

東京山桜会では、今年役員が任期を終え、新しく役員が決まりました。会長は、山本英二氏から山根雅昭氏へ、副会長は、萩原正民氏・甲谷富佐子氏から荒川良雄氏・石井佳子氏になりました。荒川良雄氏は、事務局長も兼任です。どうぞよろしくお願ひいたします。

記念講演は『オリンピックあれこれ』と題し、本間(元好)三和子氏(大中高27期)にお話いただきました。1984年ロス五輪でシンクロデュエット、ソロともに銅メダルを獲得され、今は日本水泳連盟理事シンクロ委員長、筑波大学大学院人間総合科学研究科准教授(専門:水泳競技方法論、コーチング原論)をされています。小さいころから姉さんと一緒に浜寺水練学校で水泳を習っていて、そこでシンクロを知ったそうです。昔から浜寺は水泳で有名であり、山本英二前会長曰く、日本は昔から水泳は強く、山本氏も古式日本泳法の野島流を習ったそうで、和歌山の伝統ある泳法があるそうです。本間三和子氏は、

水泳をずっとやり、筑波大学6期生になり、先生から「シンクロの素質あるで」と自信をつけられ、「夏休みは大阪で水泳、筑波でシンクロ。競泳とシンクロ両方やれ。」「大学4年で卒業せなかんと思うな。6年か8年かけてやりたいことをやれ。」と言われたそうです。「いつも水泳、先生がいない時もなんでやらなんならんのやろ。」でも、大阪の夏休みの水泳、筑波でシンクロをどっちも止めなかった。オリンピック選手に選ばれた。新幹線の行き帰り、単位はぴったりで卒業。サクセスストーリーになった。デュエット、ソロで銅メダルを獲得。シンクロは身長が競技要素であり、世界は165cmそれ以下1cmごとに1点減点されるそうです。聞いてびっくり!シンクロは、女の世界で、主観的な採点などありとのことです。オリンピックの後、世界の中で自分を考えるようになり、国際的に考えるようになり、「私は日の丸を背負っているんだ。」と日本人の誇りを感じるようになったそうです。「オリンピック終わって、自分はいったい何やろ?やっと7年かかって31歳で見つかる。それは、大学の先生とシンクロ先生を見つけたそうです。31歳で結婚。のびのび育ったので、人の指導的職業が嫌で、教育は嫌だったが、がんばってプロセスでここまで育った。「これは内容的にスゴイじゃないか!」と思い、「大学院に行つてもっと勉強したい。」と思い、「自分の考えを人前で発表するには大学院に行きたい。」と思い、大学院に行き、4年かかったそうです。31歳で「慣れていくと、よくなってくる。」を悟る。「シンクロは“私の天職や”と思えるようになる。」そして、シンクロのナショナルコーチになったそうです。「オリンピックの夢や希望に報いたい!!」やりがいがあるが大変である。今はスポンサー周り、やはり、お金が必要だそうです。なかなか難しいので、負のスパイラル。「一人では改革できない」と、「理不尽さにいかに耐えるか!」を10年間で悟る。「見た目きれいだが政治力だ」と悟る。「オリンピックはアマチュアであること」など、本間三和子氏は、お話ししてくださいました。会員から、ご主人やお子様はどうなさってらしたのですか?との質問に、ご主人も協力的で2人のお子様も小さいときから炊飯器にお米をかけたり、家族の協力も素晴らしいかったです。「感謝です。」とのことでした。横井貞弘先生は、本間三和子氏の担任だったことがあり、80mハーフル13秒4の記録があるそうです。

産経新聞で「上町に学ぶ古都おおさか再生」大木理事長による「中之島から大手前のシンボルに」に幻の明治紀念標についてのプリントと、横井貞弘先生の“科学の足跡”天文・化学…華麗な系譜についてと、宮本直和先生の大坂城内の配水池“市民にもたらす命の水”についてのプリントや上海万博の案内パンフレットなど配られ、大阪城など懐かしい追手門学院を思いうかべ、皆様お話を聞き入ったり、楽しい会話に有意義に過ごされました。

猛暑が続きますが、くれぐれもお身体ご自愛下さい。



東京山桜会

## 平成23年 新年会・幹事会

日時 平成23年2月12日(土)

11時30分～14時30分

会場 横浜ベイシェラトンホテル 28階「ベイビュー」  
☎045-411-1147 横浜駅西口(高島屋隣)

会費 5,000円

一般会員歓迎!

## 第54回 総会・懇親会

日時 平成23年5月21日(土)

11時30分～14時30分

会場 東京會館 「東商スカイルーム」  
東京商工会議所ビル8F ☎03-3211-4851

会費 10,000円

大歓迎!